

715高温・低温環境を起因物とする死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2020	1	13 ～ 14	牛乳工場CIP室で、充填機械の洗浄作業中、充填機の製品配管を水ですすぎ、アルカリ洗浄に切り替えるために、タンク足下のハンドバルブを開ける作業をしていた。そのとき、タンク上部から熱水となっていたアルカリ洗剤が噴き出て、頭から肩にかけて掛かり、頭、腕、肩、背中に化学熱傷を負った。	23	11	10101	50 ～ 99
2	2020	2	8 ～ 9	鑄造作業場で、溶湯を流した後の空のトリベがまだ熱いうちに、トリベに残ったアカをアカ取り棒で除去する作業中、熱風が左腕に当たり、左前腕部腹側に第2度熱傷を負った。	19	11	11209	30 ～ 49
3	2020	3	3 ～ 4	ホーム到着便の荷受け業務に就き、勢いを付けカーゴを後方へ送ろうとしたとき、軍手とカーゴが凍結により張り付いて、右腕が後方まで持って行かれ、右肩関節を脱臼した。	21	19	50101	50 ～ 99
4	2020	3	19 ～ 20	物流冷凍庫内で、休憩をとりながら9時間、製品の入庫・品出し作業をしていたところ、左手小指に壊死を伴う凍傷を負った。	46	11	10104	100 ～ 299
5	2020	3	23 ～ 24	勤務開始4時間後に炉前作業場で突然膝から崩れ倒れて意識を失った。その後、松果体嚢胞と診断された。	25	11	150109	30 ～ 49
6	2020	4	22 ～	物流センター冷凍庫内（-25℃）で作業中、冷凍庫用防寒着上下、目出し帽、手袋など、防寒のための装備をしていたが、カプセルリフトを使用せず、リーチリフトを使用していたため、体感温度が下	39	11	80401	10 ～

			23	がり、ピッキング終了後、右手の小指に痛み腫れがあり、右小指凍傷を負った。					29
7	2020	5	11 ～ 12	屋根上で雨樋補修作業中、具合が悪くなり、熱中症と脳梗塞を発症した。	44	11	30209		1～ 9
8	2020	5	11 ～ 12	清掃中、殺菌用シンクの熱湯殺菌をするために、ボイラーから熱湯（約80℃）をバケツに汲み、シンクに戻る際（約10m）バケツから熱湯がこぼれて長靴に入り、左足甲に熱傷を負った。	41	11	10102		10 ～ 29
9	2020	6	14 ～ 15	コーヒーを提供するために、2階フロアから利用者の部屋に入る際、右手に載せていたトレイのコーヒーをこぼし、右側腹部に掛かって2度の熱傷を負った。	53	11	130201		10 ～ 29
10	2020	6	17 ～ 18	作業中にふらつきを感じ、体を冷やすため、対策をしたが痺れを感じ、熱中症を発症した。	37	11	40301		10 ～ 29
11	2020	6	14 ～ 15	工場にて、室温30℃の中リネンのアイロン掛け作業をしている際、暑さで気分が悪くなり、めまい、立ちくらみ、頭痛、吐き気、全身のだるさ、手足の痺れが生じ、熱中症を発症した。	20	11	11703		500 ～ 999
12	2020	6	14 ～ 15	伐採作業の警備中、次の木の所へバイクで移動していたところ、気分が悪くなって転倒し、熱中症を発症した。	68	11	170201		30 ～ 49
13	2020	6	11 ～ 12	田園地域の日陰がない場所で、高さ測定作業をしていた際、曇っていたが蒸し暑かったのでめまいがし、熱中症になった。	55	11	170209		1～ 9
14	2020	6	9 ～ 10	屋内の家具搬出作業中、水分補給を行っていたが、意識を失い痙攣を起こし、熱中症を発症した。	42	11	170101		1～ 9
			0	改修工事現場で、外壁付着強度試験補助員として屋外作業中、午					50

15	2020	6	1	前、午後合わせて約3時間作業をして、夕方より体調不良を感じ、 1 熱中症と診断された。	23	11	80109	~	99
16	2020	6	20 21	店舗厨房で、炙り商品を作成しているとき、ガスバーナーを落とし そうになって先端を掴んでしまい、右手親指の付け根付近から手の 平に火傷を負った。	16	11	140201	~	299
17	2020	6	15 16	LPガスを供給しているアパートで給湯機の取替工事をしていた際、 急に具合が悪くなり、熱中症になった。	59	11	90101	~	999
18	2020	6	10 11	工事現場で、整理整頓作業や検査業務を行っていた際、水分補給を しておらず、熱中症になった。	67	11	30202	~	99
19	2020	6	14 15	工場内で脱脂作業中、足が痺れ全身の痙攣が起き、熱中症を発症し た。	52	11	11709	~	49
20	2020	6	17 18	畑で葱の定植作業中、気温が高い中での作業であったため、熱中症 を発症した。	27	11	60101	~	29
21	2020	7	7 8	駅で出改札業務中、事務室内で目まいを起こし、少し休んだが改善 せず、熱中症および脱水症を発症した。	62	11	40101	1~	9
22	2020	7	17 18	ピッキングやコンテナ下ろし等の倉庫内作業中、汗が通常より多く 出て、足がつるような状態だった。帰宅中、車内で意識が朦朧とな り、帰宅後意識を失い、熱中症を発症した。	38	11	170101	~	499
23	2020	7	12 13	施設内、新館病棟の裏の畑で耕運機を運転中、高温・多湿な環境 で、水分や休憩は取っていたが、吐き気や手の震え等の症状が出 て、熱中症を発症した。	42	11	130101	~	299
			11	スーパーの青果作業場（屋内）で、袋詰め等の軽作業中に体の震					50

24	2020	7	～ 12	え、めまいが起こり動くことが困難になり、熱中症を発症した。	38	11	80209	～ 99
25	2020	7	～ 15	14 出社から昼休憩までの3時間で、洗車やアテンドなど炎天下での作業をマスク着用で行った際、熱中症を発症した。	20	11	80204	10 ～ 29
26	2020	7	～ 11	10 工場内で、電子基板が入った段ボール箱（約10kg）を作業台に載せ、中の電子基板をアルミパックに入れて元に戻す作業をしていた。工場内は冷房（25度）を使用していたが、空調が届きにくかった。また、新型コロナウイルス対策でマスクを着用しており、水分補給も十分でなかったため、熱中症を発症した。	34	11	170101	～ 299
27	2020	7	～ 16	15 朝から土場の整理・清掃をしていたところ、午後になって手足がつり始めた。休憩を取ったが、全身がつってうまく歩けなくなり、熱中症を発症した。	30	11	30209	1～ 9
28	2020	7	～ 11	10 納品先で、4tトラックから硝子を降ろし、養生用ストレッチフィルムを片付けていた。当日の気温は28.6℃で、雨が降っていたのでヘルメット・手袋・長袖の作業着に加え、雨合羽を着て作業をしていたところ、熱中症を発症した。	51	11	40301	10 ～ 29
29	2020	7	～ 11	10 作業現場で、資材運搬中、後ろに倒れ痙攣を起こした。その際、熱中症を発症し、左肩甲骨の痛み、右足に感覚麻痺を負った。	34	11	30201	1～ 9
30	2020	7	～ 8	7 倉庫内で、積込作業中、体調が悪くなり、水分補給して休憩したが、熱中症を発症した。	38	11	40301	10 ～ 29
31	2020	7	～ 15	14 工場内で作業中、手足の痺れ等の症状が現れ熱中症を発症した。	20	11	80109	50 ～ 99
			10	1階ケースエリア内で、カート、オリコンを搬送中、気分が悪くな				

40	2020	7	11 ～ 12	屋外で直射日光を浴びて農作業を行っていた際、意識朦朧となりふらつき、熱中症を発症した。	38	11	60101	1～ 9
41	2020	7	16 ～ 17	帰宅途中に体調不良となり、熱中症となった。	34	11	70101	50 ～ 99
42	2020	7	15 ～ 16	コンクリート打設工事を終え、次の現場へ移動してすぐに嘔吐して、熱中症となった。	66	11	30201	1～ 9
43	2020	8	13 ～ 14	冷凍搬送室で高温多湿の中、清掃作業をしていた際、こまめに水分補給をしていたが、熱中症のような脱水症状となり、腎不全急性増悪と診断された。	55	11	10109	100 ～ 299
44	2020	8	13 ～ 14	元請け現場の敷地内で生コン打設、型枠解体ボルト外し作業をしていたとき、蒸し暑く、事務所で休憩をしたがだるさが残り、熱中症を発症した。	24	11	30111	1～ 9
45	2020	8	13 ～ 14	酪農家から生乳をクーラーステーションまで輸送するため、タンクローリーを運転していたところ、突然目まいがして具合が悪くなり、熱中症を発症した。	55	11	40301	10 ～ 29
46	2020	8	13 ～ 14	ガードレール交換工事現場で交通誘導警備の勤務中、体調が悪くなり、熱中症を発症した。	65	11	170201	300 ～ 499
47	2020	8	10 ～ 11	発電施設テント増設工事現場で作業後に事務所に戻り、いびきをかいて倒れていたところを別の作業員により発見され、病院に搬送され熱中症の診断を受けた。	61	11	30201	50 ～ 99
48	2020	8	11 ～ 12	工場内、アルマイトライン最終引き上げ場所で、製品の止まり穴をエアで吹く作業中、気温36℃～37℃、湿度75%～80%の環境での作業だったため、めまいとだるさを感じ、熱中症を発症した。	55	11	11209	30 ～ 49

49	2020	8	14 ～ 15	家屋建築現場で基礎工事のコンクリート打設作業をしていたところ、高温下（最高気温34℃）での屋外作業であったため熱中症を発症した。	69	11	30309	～ 29
50	2020	8	9 ～ 10	BT解体検査で治具を左右交互にセットしていた際、めまいがし息苦しくなり、手が震えて熱疲労を発症した。	34	11	170101	～ 299
51	2020	8	8 ～ 9	構内ホーム上で配達荷物の積み込み作業中に気分が悪くなり、休息を取っていたが、吐き気や手の震えの症状が悪化し、熱中症を発症した。	37	11	40301	～ 99
52	2020	8	11 ～ 12	機械解体工事の3階からの荷下ろし、車への積み込み作業終了後、体調不良となり、熱中症を発症した。	20	11	30309	～ 29
53	2020	8	14 ～ 15	調理室でコンテナ洗浄中、具合が悪くなり、休憩室で水分補給、保冷剤で体を冷やす応急処置をしている最中に急変し、手足の痺れ震えが始まり、体の硬直も見られ、熱中症を発症した。	49	11	10109	～ 29
54	2020	8	10 ～ 11	資材センター構内で、型枠材料の加工作業中、気分が悪くなり、熱中症を発症した。	61	11	30202	1～ 9
55	2020	8	12 ～ 13	店舗で納品作業終了後、運転席へ戻るため、ステップへ左足を掛けようとしたが、熱中症状が出て手足に力が入らず、痺れた状態で足が上がり、ハンドルに掛けていた右手も放してしまった。その際、転倒し頭を打ったため、頭部にコブができ、熱中症を発症した。	51	11	40301	～ 49
56	2020	8	21 ～ 22	2件の引っ越し作業を終え、駅で解散後、足が痙攣し、熱中症を発症した。	51	11	40301	～ 49
			14	給食センター調理場内で洗浄作業中に、夏場で室温36.3℃ある中、				50

57	2020	8	15	給食でを使用した食器等を下ろす作業中、軽症熱中症を発症した。	29	11	10109	99
58	2020	8	15 16	現場事前マーキング作業中、熱中症を発症した。	38	11	170209	299
59	2020	8	16 17	床コン打設の作業中に体調を崩し、熱中症を発症した。	36	11	30201	29
60	2020	8	15 16	午後の作業を、ホールで猛暑の中、芝刈り機に乗り、2時間ラフ刈り作業をしていたとき、急に気分が悪くなり芝刈り機から下車したら、すぐにもどしてしまい、意識も朦朧とし、熱中症を発症した。	61	11	140301	299
61	2020	8	14 15	現場にて、気温30度を超える屋外で土堀作業を行っていた。適宜休憩と水分補給を行い、午後も引き続き屋外で、コンクリート打設作業を開始するも、手足のしびれや息苦しさを覚えた。そのとき、作業を中断し、氷による冷却や安静にしていたが、手足のしびれと痙攣を起こし倒れた。その際、熱中症および脱水、急性腎不全を発症した。	61	11	30201	9
62	2020	8	8 9	事業場内の調理場で調理台の上にある汁の保湿釜に、汁を移し替えて戻そうとしたとき、中の汁がこぼれて被った。その際、左鎖骨下から腰部までに火傷および体部に熱傷を負った。	26	11	130201	29
63	2020	8	17 18	休憩取得が終了後、2便配達に行くため、出庫した。3時間後、配達先で体調が悪くなり会社（事務所）へ連絡した。その際、熱中症と急性腎不全を発症した。	42	11	40301	29
64	2020	8	15 16	新築現場で鉄筋の組み立て工事中、休憩時に水分補給のため近くの自動販売機まで車で向かい、停車した後、熱中症により急に手足が動かなくなった。	47	11	30202	9
			11	工場内で油揚げの加工中、当日の気温が高かったため工場内も45℃				1

65	2020	8	～ 12	位になっていた。次第に全身がだるくなり、手足に痺れと震えが生じて座り込み、熱中症になった。	43	11	170101	9
66	2020	8	～ 11	施設外就労先敷地内で作業を終え、休憩に入ろうとして、地面に置いてあった灰皿を取ろうとしたところ、グラグラと半回転しながら後頭部から転倒し、コンクリートに打ち付けた。しばらくし経ち落ち着いたので自身で立ち上がろうとしたところ、熱中症のような症状で再び左顔面から倒れ、後頭部切創、顔面打撲を負った。	50	11	130201	～ 49
67	2020	8	14 ～ 15	自社敷地内で草むしり、倉庫で資材の片付けをしていたところ、作業中に体調が悪くなり、熱中症、脱水症を発症した。	35	11	30199	10 ～ 29
68	2020	8	22 ～ 23	抽出室で、お湯で茶葉の抽出作業中、手足の痺れ、吐き気、頭痛があり、熱中症を負った。	44	11	10106	100 ～ 299
69	2020	8	～ 15	倉庫内で、ハンディターミナルを使用し商品の読み込み作業中、体調が悪くなり水分補給せず、汗が出なくなり気分が悪くなった。その際、上気道炎、熱中症を負った。	45	11	50101	30 ～ 49
70	2020	8	～ 12	公園で草刈作業中、体調が悪くなり、熱中症を発症した。	50	11	60101	10 ～ 29
71	2020	8	15 ～ 16	工場で、再稼働作業中、水分・塩分を十分に摂取していたが、熱中症を発症し、急性腎不全を負った。	46	11	10901	300 ～ 499
72	2020	8	11 ～ 12	建設工事現場で、邪魔な草木を草刈機で除去作業中、体調が悪くなり、熱中症を発症した。	61	11	30109	10 ～ 29
73	2020	8	～ 11	客先で、農業機械の修理中、冷や汗などの症状があり、熱中症を発症し、急性心筋梗塞を発症した。	58	11	80209	1～ 9

			12						
74	2020	8	10 ～ 11	お客さま構内で荷台からホームに荷物を配達中、熱中症により意識がなくなって仰向けに倒れた。その際、後頭部を打って頭蓋骨にヒビが入り、クモ膜下出血を起こした。	51	11	50101	～ 499	300
75	2020	8	9 ～ 10	運送会社支店内のトイレ清掃中、事務所外のトイレであり、気温が高い中での作業であったため、吐き気、手の震えなどの症状が出て、熱中症を発症した。	50	11	40301	～ 299	100
76	2020	8	11 ～ 12	ゴルフ場で、ハーフ終了後、お客様にターン時間をお伝えし、キャディマスター室に戻って休憩中、息が吸いづらくなり、足も吊ってきて、熱中症を発症した。	19	11	140301	～ 299	100
77	2020	8	11 ～ 12	作業現場で、ケースの積み替え作業中、顔色が悪く、うずくまり、嘔吐、痙攣の症状があり、熱中症を発症した。	44	11	170101	～ 99	50
78	2020	8	14 ～ 15	仕込成型工で、最後の餡を降ろし終えて、洗い流すためホースでお湯を溜め、ホースを引き抜く際に、ホースが暴れお湯がかかり、左肩・右下腹部・右大腿に2度の熱傷を負った。	22	11	10109	～ 99	50
79	2020	8	10 ～ 11	浄水場で、洗浄ろ過砂投入補助係として作業中、熱中症になった。	34	11	30110	～ 29	10
80	2020	8	16 ～ 17	工場です空ドラム缶の積み降ろし後、休憩中に手足に痙攣が起こり、熱中症になった。	51	11	40301	～ 99	50
81	2020	8	12 ～ 13	工場内で金属加工中、気温30度を超える中で窓を閉め切り、長袖長ズボン・マスク・ゴーグル着用し、空調もない環境で作業を行ったため、熱中症になった。	32	11	11209	～ 99	50
82	2020	8	15 ～	ボンデ処理（プレス加工前に材料の表面に薬剤を塗る作業）をする際、熱湯（60～70℃）を入れる配管ホースの一部が破損していた	53	11	11202	1～	

			16	ため、ホースとパイプの接合部分のネジを外す作業を行っていたところ、足を滑らせて右足首に火傷を負った。					9
83	2020	8	19 ～ 20	工場内で食品容器の製造中、気分が悪くなり、熱中症を発症した。	36	11	10805		30 ～ 49
84	2020	8	13 ～ 14	工場内で、バグフィルターのろ布調整確認作業を行っていた際、暑い環境下での作業にもかかわらず対策が不十分だったため、熱中症になった。	47	11	30309		1～ 9
85	2020	8	19 ～ 20	店舗厨房内を走って移動していた際、フライヤーの前で足を滑らせ、左手がフライヤーの油の中に入って火傷を負った。	22	11	140201		10 ～ 29
86	2020	8	9 ～ 10	工場内で、自動車樹脂部分の組付け・検査作業中、水分補給が通常より少なかったためか突然めまい、手の震えが発症し、その場に倒れ込み、熱中症と診断された。	20	11	170101		100 ～ 299
87	2020	8	11 ～ 12	2Fオリコン置場で、オリコンをパレットで降ろし、1Fから専用オリコンを上げる作業中、気分が悪くなり、熱中症になった。	68	11	80109		500 ～ 999
88	2020	8	15 ～ 16	新築工事現場で、1階壁部分の建込中に、気分が悪くなりめまいがして、熱中症を負った。	33	11	30202		1～ 9
89	2020	8	12 ～ 13	駐車場除草作業時、水分補給のため、水筒を取りに行く際、熱中症で転倒し頭部・右人差し指を打撲した。	36	11	170209		50 ～ 99
90	2020	8	16 ～ 17	現場作業中、突然嘔吐し頭痛があり、熱中症を発症した。	24	11	30106		30 ～ 49
			22	前日一次加工の室温が低い職場から、当日真空フライ二次加工での					100

91	2020	8	～ 23	ピッキングで、環境の違いのため熱中症となった。	46	11	10104	～ 299
92	2020	9	～ 13	12 厨房内で、昼食洗浄後のごみ捨て作業を行っていたとき、急に体が 13 ふらつき（医師によると熱中症と診断、エアコンの温度は20℃設 定、洗浄コートには冷風が届いていない）、立ち姿勢を保つことが できず、転倒した。その際、作業台の角に顔面を強打し、上口唇に 擦り傷、右瞼に裂傷を負い、鼻を骨折した。	34	90	80209	～ 29
93	2020	9	～ 11	10 工場でブレーキパットの製造中、素材を熱硬化させるためのキュア 11 炉を整備していたところ、手足のしびれ等の症状があり、過労によ る過呼吸が生じた。	31	11	11502	～ 49
94	2020	9	～ 13	12 工事現場で交通誘導作業中、休憩中に手足のしびれや、めまい・吐 13 き気が起こり、熱中症になった。	47	11	170201	～ 49
95	2020	10	～ 16	15 牛のふん尿貯留槽底版部のアスファルト合材舗装作業中、アスファ 16 ルト合材をスコップでならして、アスファルトフィニッシャー の加熱部と合材付近で作業を続けていて、安全靴は履いていたが右 足の親指・小指に熱傷を負った。	62	11	30201	～ 99
96	2020	10	～ 12	11 総合福祉センター内厨房で揚げ物調理後、油が覚める前に鍋を移動 12 させたところ手が滑り、下半身（腰より下、両足）に油が掛かって 火傷を負った。	55	11	130201	～ 29
97	2020	10	～ 13	12 調理室で、洗い物をしようとシンクの中に右手を入れた際、溜まっ 13 ていた熱湯で右手に熱傷を負った。	60	11	130101	～ 99
98	2020	11	～ 18	17 施設内の冷蔵庫で、他の作業員が扉内側のビニールカーテンに付い 18 た氷を、かき落としていたところ、氷を踏み足が滑り転倒した。こ のとき、右手を床につき、右手首を骨折した。	57	2	10101	～ 299
			16	勤務している店舗と隣接している別の店舗へ食材を借りに行ったと				10

99	2020	12	～ 17	ころ、厨房内にあるフライヤー内の油（180℃）の中に、右腕を突っ込んでしまい、首筋にも油がはね、右手および右前腕に熱傷を負った。	22	11	140201	～ 29
----	------	----	---------	--	----	----	--------	---------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。